

彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和 7 年 7 月号



【彼方小 HP の QR コード】



「七夕」～梅雨明け～

校長 上本 浩

もうすぐ「七夕」ですね。七夕は、織姫と彦星が年に一度だけ会えるというロマンチックな伝説を持つ行事です。3月3日の桃の節句「ひな祭り」や、5月5日の端午の節句「子どもの日」と並んで、節句の中でも重要な「五節句」のひとつに数えられます。

七夕の由来は、中国から伝わった星祭り「乞巧奠」と日本の棚機津女伝説が結びついて、織姫と彦星の伝説が生まれたと言われています。そして、七夕には、織姫のように裁縫や芸事、学業などが上達するように短冊に願い事を書いて笹に飾ったり、織姫と彦星が天の川を渡って会えるように願い事を込めて七夕飾りを作ったり、天の川をイメージしたそうめんを食べるなどして楽しむようになりました。この風習は奈良時代（710～794年）頃に日本に伝わったとされ、現存する日本最古の和歌集『万葉集』でも七夕にちなんだ和歌が130首も詠まれています。

今年は、例年に比べて雨の少ない6月でした。また、急に想像以上の暑さや気温の乱高下もあり体調管理が難しいですね。梅雨のじめじめと蒸し暑い日が続くと思うとなんだか気が滅入ってしまいそうですが、子ども達は、梅雨の雨と猛暑の間を縫って元気に遊んでいます。さすが元気で明るい彼方の子たちですね。また、梅雨は悪いことだけでなく田植えをするこの時期に降る雨が、その年の稲の苗の成長を促すのが“梅雨の恵み”として重要だそうです。



また、6月16日には梅雨の前から手入れをしていただいた嬉地区の田んぼで5年生が「田植え体験」をさせていただきました。初めてのことで戸惑っていた子どもたちも次第に上手になり、楽しい体験をさせていただきました。ご指導いただいた「根っ子の会」のみなさんやJA大阪南の担当の方々、会館を貸していただいた嬉町会のみなさまなど、多くの方のご厚意で実施することが出来ました。本当にありがとうございました。